

# 第5学年 国語科学習指導案

指導者 京都市立第四錦林小学校 池永 昌堅

1 日 時 令和5年2月7日(火) 第5校時(14:30~15:15)

2 学年・組 第5学年2組(21名)

3 単元名 伝わる表現を選ぼう

## 4 単元の目標

- ◎語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができるようにする。(知・技(1)オ)
- 言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くことができるようにする。(知・技(1)ア)
- 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるようにする。(思・判・表B(1)ウ)
- 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができるようにする。(思・判・表B(1)オ)
- 積極的に、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習課題に沿って、手紙を書こうとすることができるようにする。

## 5 単元の評価規準

知・技	①言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。((1)ア) ②語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ)
思・判・表	①「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしている。(B(1)ウ) ②「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ)
態	①積極的に、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習課題に沿って、手紙を書こうとしている。

## 6 単元について

### 【育成を目指す資質・能力】

本単元の内容は、学習指導要領において次のように示されている。

〔知識及び技能〕

(1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くこと。

オ 思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。

〔思考力、判断力、表現力等〕

書くこと

(1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ウ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

オ 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。

□ この指導事項は、言葉が果たす他者との良好な関係をつくる働きや特徴に気付くために、今回の改訂で新設したものである。挨拶などの日常会話において見られるように、言葉には、話し手と聞き手

(送り手と受け手)の間に好ましい関係を築き、継続させる働きがある。このような言葉の働きに気付かせることが、中学校第2学年の「相手の行動を促す働きがあることに気付くこと」へと発展していく。

この指導事項は〔知識及び技能〕や〔思考力、判断力、表現力等〕に示す様々な内容に関連するが、例えば、〔知識及び技能〕の(1)オの「語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと」との関連を図り、指導の効果を高めることが考えられる。

- 語彙を豊かにするとは、自分の語彙を量と質の両面から充実させることである。具体的には、意味を理解している語句の数を増やすだけでなく、話や文章の中で使いこなせる語句を増やすとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化などへの理解を通して、語句の意味や使い方に対する認識を深め、語彙の質を高めることである。

語感や言葉の使い方に対する感覚とは、言葉や文、文章について、その正しきや適切さを判断したり、美しさ、柔らかさ、リズムなどを感じ取ったりする感覚のことである。

- 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとは、書く目的や意図を明確にした上で、詳しく書く必要のある場合や簡単に書いた方が効果的である場合などを判断しながら書き表し方を工夫することである。この指導事項の「構成や展開を考える」過程において、文章のどこを詳しく、どこを簡単に書けば効果的かをあらかじめ検討しておくことも考えられる。
- 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えるとは、ア、イ、ウ、エの指導事項を観点に、文や文章を推敲することである。第5学年及び第6学年においては、文章全体を見たときに、内容や表現に一貫性があるか、目的や意図に照らして適切な構成や記述になっているか、事実と感想、意見とが区別して書かれているか、引用の仕方、図表やグラフなどの用い方は適切かといったことなどが推敲の観点となる。

#### 【単元を通した言語活動】

- ・「2年生に進級する1年生に対して手紙を書く活動」を設定し、自分が書いた手紙を「相手が知っている言葉を使う」「文末表現を書きかえる」「書きかえてよい言葉と、よくない言葉を考える」という観点で文章を推敲する。

#### 【単元構想】

##### ○「出会う」

- ・単元の終わりには2年生に進級する1年生に手紙を書くことを伝えることで、児童が学びに対する必然性を感じられたり、学習への意欲を高めたりすることができるようにする。
- ・これまでの生活経験から、例文中の1年生にとって難しいと思われる言葉を探す。
- ・指導事項をふまえ、「相手が知っている言葉を使う」「文末表現を書きかえる」「書きかえてよい言葉と、よくない言葉を考える」という観点で書きかえればよいことを押さえるようにする。

##### ○「追究・表現する」

- ・次のような順に、指導事項を指導する。

##### ◆「意図に応じた言葉を選ぼう」について

- ① 挿絵を1枚ずつ見せながら、何が原因でこのようなすれ違いが起こったのかを話し合う。
- ② 言葉にして話したり書いたりするときは、自分の伝えたいことが正確に伝わるかどうか、相手の立場になって考えてみる必要があることを伝える。

##### ◆「1年生への手紙を書く」について

- ① 教科書p.205の3つのポイントを押さえる。
- ② 3つのポイントをもとに手紙の下書きをし、次時の推敲の準備をする。

##### ○「生かす」

- ・前時に書いた手紙を読み合う。
- ・交流で推敲しあう時には3つのポイントを掲示し、それをもとに話し合い活動ができるようにする。
- ・交流を通して様々な意見にふれることで、今後相手意識をもって話したり書いたりすることができるようにする。

【児童観・指導観】

学習内容や資質・能力に関わる児童の実態	児童の実態に対する具体的な手立てや支援
<p>・「敬語」の単元において、相手に応じて言葉や語尾を変える必然性を感じるとともに、適切な表現を選ぼうとしていた。</p> <p style="text-align: center;">(知識及び技能)</p>	<p>・「敬語」の学習を想起したり、教科書の場面を日常生活と結び付けたり、相手に応じて言葉遣いを変える必然性について理解することができるようにする。</p>
<p>・「あなたは、どう考える」の単元において、意見文の構成や読み手のことを意識しながら文章を書いたが、自分の意見に説得力をもたせる根拠が不十分な児童もいた。</p> <p style="text-align: center;">(思考力・判断力・表現力)</p>	<p>・どう書き換えてよいか分からない場合は国語辞典を使ってもよいことを伝えることで、説得力のある意見をもちながら、文を書きなおす話し合いができるようにする。</p>
<p>・「どちらを選びますか」の単元において、1つの事象に対して、様々な角度からそれを考えることを楽しみ、話し合っていた。</p> <p style="text-align: center;">(学びに向かう力・人間性等)</p>	<p>・文章を見た時の相手の立場を演じたり想像させたりすることで、相手に合わせた言葉を選ぶことができるようにする。</p>

4 指導計画 【指導のポイント 手立て ! 配慮事項 他他教科との関連 個別支援】

	時	○学習活動 ◆主な発問 子どもの反応	指導のポイント	評価観点
出会う	1	<p>○例文を読み、1年生と仲良くなれるか考える。</p> <p>・難しい言葉がたくさんあるよ。 ・これじゃあ伝えたいことが上手く伝わらないんじゃないかな。</p> <p>[学習課題] 言葉や表現に気を付けて、1年生に手紙を書こう。</p> <p>○P202「相手に応じた言葉を選ぼう」を読み、相手に応じた言葉の選び方について考える。</p> <p>◆1年生に向けて書くとしたらどのように書けばよいただろう。</p> <p>・各自→それぞれ、一人ひとり ・容器→虫かご、入れ物 ・文末はもっと柔らかい表現のほうがいいね。 ・校外学習と遠足は似ているけれど意味が違うね。虫かごもよくないかも。</p>	<p>☞タブレットを使って、別の言葉に変えてよいか確認する。</p> <p>☞1年生にとってどの言葉が難しいと思われるかを一緒に想像し、線を引く。</p>	知①
追究・表現する	2	<p>○自分の伝えたいことが相手に理解してもらえなかったり、誤って受け取ってもらえなかったりした経験を話し合う。</p> <p>○P204「意図に応じた言葉を選ぼう」を読み、意図に応じた言葉の選び方について考える。</p> <p>◆自分の思った通りに伝えるために大切なことは何か考えよう。</p> <p>・教科書の例だと「独特」という言葉の捉え方が違っているね。女の子はよい意味で使っているけれど、男の子は悪く捉えているよ。自分がどうしたいのか意図を明確にし、相手の立場になって考えてもっと分かりやすい言葉を使うのがいいね。</p> <p>○手紙の下書きをする。</p>	<p>ICT教科書の例を拡大して掲示し、どのようにすればよかったか考えられるようにする。</p>	知②

生 か す	3	<p>○言葉や表現に気を付けて、手紙を推敲する。</p> <p>◆2年生になる1年生に向けて応援する手紙を推敲しよう。</p> <p>・相手「1年生」 ・意図「たてわり活動で感じた1年生の成長を伝える」 「もうすぐ進級してお兄さんお姉さんになる1年生を応援する」</p> <p>○単元における学びを振り返る。</p>	<p>☞実際に関わったことのある1年生を相手にすることで、相手意識と目的意識が明確になるようにする。</p>	<p>思① 思② 態①</p>

記録に残す主な評価場面（例）

- ・知①「1年生に伝わるように書き換えたりしたロイロノート」【1時間目】
  - ・知②「意図に応じた言葉の選び方について考えたことを記述したノート」【2時間目】
  - ・思①②「1年生に向けて書いた手紙」【3時間目】
  - ・態①「手紙を書こうとしている姿」【3時間目】
- \*授業改善に向けては、単元における毎時間の子どもの様子やノートなどの見取りを行うことが大切です。

## 8 本時について（1／3）

### （1）目標

言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くことができる。（（1）ア）

### （2）展開

○学習活動 ◆発問 ・児童の反応	◇支援 *留意点 ㊦個別支援
<p>○学習のめあてと流れを確かめる。</p> <p>◆この文章だと1年生に伝わりづらいですね。どのように書き換えたら仲良くなれるでしょうか。</p>	<p>*単元の終わりに1年生に手紙を書くことを伝えることで、学習への必然性をもたせる。</p> <p>◇劇で演じるなどして、本時のめあてについて理解し、学習の見通しがもてるようにする。</p>
<p><b>1年生と仲良くなるために、伝わる文章にかえよう。</b></p>	
<p>○1年生に伝わるように文章を書き換える。</p> <p>◆まずは一人で考えてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「昆虫採集」って分かるかな。</li> <li>・「各自」ってどう書き換えるのだろう。</li> <li>・「持参すること」は「持ってきてみましょう」に書き換えよう。</li> <li>・「校外学習」は「遠足」に書き換えてもよいのかな。</li> </ul> <p>○考えたことをもとに話し合う。</p> <p>◆一人で考えたことをもとに、班で話し合ってみましょう。話し合った結果①1年生に伝わる文章を一つ②自分の班は何を意識して書き換えたか、が発表できるようにしましょう。②はたくさん出し合ひましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「昆虫採集」は「虫とり」に変えよう。</li> <li>・「各自」は「それぞれ」に変えよう。</li> <li>・難しいと思う言葉は簡単な言葉に書き換えたほうがいいんじゃないかな。</li> </ul>	<p>*ロイロノートやノートを使うことにより、この後の話し合い活動をしやすくする。</p> <p>㊦書き換えることが難しい児童には、1年生にとってどの言葉が難しいと思われるかを一緒に想像し、線を引いておくことで、この後の話し合いに参加できるようにする。</p> <p>*書き換える言葉を調べるのに国語辞典を使ってもよいことを伝える。</p> <p>◇話し合い後の姿を示すことにより、児童が何について話し合えばよいのかが分かるようにする。</p> <p>*話し合うときは課題に対してみんなで協力させるために、タブレットを使う場合は1台で話し合いをするように指示する。</p> <p>◇ロイロノートやノートを活用して全員の考え（見つけた言葉）を共有することにより、ほかの友達の見つけた言葉やそこから考えたり想像したりしたことを知るができるようにする。</p> <p>【ICT活用〈図1〉】</p>

<p>○解答画面を共有して見比べる。 ◆解答画面を見て、気づいたことを発表しましょう。</p> <p>○教科書を使ってまとめる。 ◆教科書P. 203を使って、ポイントをまとめてみましょう。</p> <p>○本時の振り返りをする。 ◆今日の学習を振り返りましょう。今日分かったことはなんですか。今後の生活で意識したいことはどんなことですか。</p>	<p>◇班で話し合ったことをクラスで共有することにより、様々な意見に触れることができるようにする。</p> <p>*教科書を使って、相手に正しく伝えるために文章を書き換えるときの3つのポイントをまとめる。</p> <p>*振り返る視点を示す。</p>
--	---

(3) 評価

<p><b>【知①】</b></p>	<p>言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くことができる。 (ロイロノート・発言)</p>
<p>「おおむね満足できる」状況と判断できる「発言・記述」</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生にとって、この言葉は難しいから、書き換えたほうがいいんじゃないかな。</li> <li>・「すること」は厳しい感じがするから「しましょう」とかにしたほうがいいんじゃないかな。</li> <li>・1年生に手紙を書くときは、今日習った3つのポイントを意識して書こうと思いました。</li> </ul>	

(4) 板書計画

<p><b>ふりかえり</b></p> <p>○今日分かったことはなんですか。 ○今後の生活で意識したいことはどんなことですか。</p>	<p>③ 書きかえてよい言葉と、よくない言葉を考える</p> <p>② 文末表現を書きかえる</p> <p>① 相手が知っている言葉を使う</p> <p style="text-align: center;">文章を書きかえるときの3つのポイント▽</p>	<p>△話し合い後の姿▽</p> <p>◎ 一つの文章が完成できている</p>	<p>→</p> <p>・むずかしい ・仲良くなれない</p>	<p>各自が適切な容器を持参すること</p> <p>・校外学習で、こん虫採集に行くにあたり、</p>	<p>めあて</p> <p>一年生と仲良くなるために、伝わる文章にかえよ</p>	<p>伝わる表現を選ぼう</p>
--	--	---	-------------------------------------	--	--	------------------

(5) ICT活用〈図1〉

① 指導者は、事前にロイロノートのスライドを用意しておく。

タブレット

意識したこと	自分の文	例文
--------	------	----

② 班で話し合った結果を、指導者から送られたロイロノートに書いて「提出」する。

タブレット

意識したこと	班の文	例文
--------	-----	----



③ 「提出」されたスライドを大型テレビに提示し、考えを共有する。

大型テレビ

意識したこと	班の文	例文
--------	-----	----